

自分に自信を持ち他人と比較することなく目の前の問題に集中せよ。計画に沿って学び続けるのだ。入試当日は最後の科目が終わるまで絶対に諦めるな。(大場 健司)

結果はどつあれ、最善と思われ努力をしなければ今後の人生が開けない。それは恐ろしい人生になるよ。(柳 善一)

寝言で「イデオムが出てくるくわい、シャーペンの中から煙が出るくらいうるまな。」(五日市 浩)

本番で不安な自分の支えになるのは、「懸命に頑張っている今の現在の自分」です。後悔しないよう、今を頑張れ!!(長坂 浩之)

【苦手】なことは逃げても結局やらねばならない。だから逃げるのをやめて、振り返って向き合おうしかないよ。
【やってみるか】と自分を信じて苦しいけれど向き合ってみよう。そして【信じられる自分】になるために正しい努力を積み重ねて!!(関野 光希子)

受験は自分で決めた新たな道への挑戦である。受験が終わったときに「ああ、やり切ったな」と思えるように直前まで努力を怠らさず頑張ろう!!(佐々木 光介)

受験の選択肢に「合格」と「不合格」の二択はありません。「合格」か「諦める」かの二択です。諦めない心があれば、あなたを合格に導きます。(村田 寛之)

受験後の自分を想像して後悔のないように。最後まで継続できた人が合格の栄光を勝ち取るだろう。(松永 弘文)

今までコツコツ勉強してきたことを入試問題に思い切りぶつけてください!!応援しています!!(富田 宏美)

本番で迷ったときは、普段やらない解法は使わないこと。授業でやったことを思い出して、平常心で臨んでください。そして、当日の朝ごはんはおもちがおすすめです。(神山 仁)

受験は将来の可能性を広げるチャンスです。まだまだ時間があります。焦らずに丁寧に力をつけていきましょう。応援しています。(岡本 武)

いま自分に出来ることを全力で。地味で面倒臭いことを誠実に。最善の準備をして本番に臨もう!!(高寺 大介)

明日ではなく今日やろう。日々大切に丁寧に過ごそう。君の可能性は無限大。最後まで挑み続けよう。(末武 淳一)

受験まで残りわずか。ここでの頑張りが本番での自信に繋がります。試験中、解答に迷いたくなかったら、今、一生懸命に勉強に取り組もう。(矢上 有一)

不安になるのは今まで頑張ってきた証拠!頑張った自分をほめ、信じて全てをぶつけよう!!受験前日は早めに寝てね。(小澤 浩太)

いよいよ入試の時期が近づいてきました。最後の最後まで諦めなければ絶対に合格!「必勝」を信じて、春は桜満開になりますように!!(園部 圭)

「受ければ必ず受かる」これ受験の第一義なり。己の甘さを断ち、日々修煉すれば、然る後、自ずと不安に克つ。斯くのごとくならば、いかなる困難に遭おうとも、豈に恐るべけんや。必勝。(山崎 将之)

受験生になったとき、きみは、どういふ結果を望んだか?もう一度思い出せ。毎日思い出せ。三月をどういふ気持ちで迎えたのか?よく考えろ。毎日考えろ。そして、残された日々をこの一瞬の無駄もなく大事に過ごせ。(小林 健輔)

疾風に勁草を知る。コロナ禍という困難な時代、受験という試験、それを潜り抜ける中で、君は君自身の真価を知る。(片岡 秀樹)

たとえ極度の緊張の中でも十分な準備をしてきたのであれば自ずと結果は残せます。だからこそ一問一問に一言一憂しないように。(平野 陽大)

受験生へのメッセージ



いよいよ入試本番です。今まで努力し続けてきた自分を信じて楽しんでください。吉報をお待ちしております。(笠井 佳)

高校生活は人生で一度しかない大切な時間。そんな時間を君が望む最高の場所で過ごせたなら、それ以上幸せなことはいはずだ。最後まで諦めずに頑張ろう!!(中光 颯)

いつもと変わりなく粛々と計画どおりに。学ぶ機会を用意してくれたご両親への感謝の気持ちを忘れず、ご家族との時間を大切に!いよいよ年末年始を過ごしてください。(石塚 正人)

私たちはみんなの頑張る姿を見てきたから、頑張れました。私たちもみんながなりたいたい自分に一歩でも近づけるように、全力で祈っています!頑張れ!!(石崎 翔)

入試までに残された時間はまだまだ十分にあります。最後の最後まであきらめずに正しい努力をしてください。(村上 静馬)

いよいよ本番まであと少し。志望校合格、その目標達成に向けて努力を重ねていると思います。受験まで残された時間を大切に、全力で頑張ってください!!(比嘉 あかね)

受験生でいられるのも残りあとわずかです。だからこそ今この瞬間を大切にしてください。受験生でいられることの感謝を忘れず、一緒に最後まで駆け抜けていこう。(櫻村 公太)

迷わないことが強さではなく……迷うことが大切で……怖がらないことが強さではなく……怖がるのが当然で……悩まないことが強さではなく……悩むことが必要で……そうした受験生こそ合格を手繰り寄せると私は信じています。(松尾 裕史)

君たちは常に前向きに、ひたむきに学んできました。そんな君たちなら絶対に勝てる!とはいえず、ときには弱気になることもああるでしょう。そんなときには心の中で『絶対大丈夫!』と三回唱えてみてください。そして学校や創学舎の先生たちの顔を思い浮かべてみてください。(青木 隆一)

受験当日は脳が燃えてしまいます。チョコリートを持参し、休み時間に糖分を補給しましょう。効果絶大ですよ。(澤田 秀樹)

残された時間でできること、ただたくさんあるはず。限りのある時間を無駄にしないように。心配事があれば教室の先生たちにすべに相談すること。(上田 悠介)

家族への感謝の気持ち、家族との日々の時間を大切に。応援しています。(小野 桃花)

「すごい」「大変」と感じるの頑張りっている証拠!!『合格』の二字字に向かっであと一息!今まで学習してきたこと、そして、何より努力し続けた自分を信じて!!(新島 景子)

なすべきことにひたすら集中!!実力は直前で驚くほど伸びる!最後の最後までけっして諦めないこと!!(高橋 力)

体調にはくれぐれも気をつけて。100%の状態を挑みましょう。(上野 真宏)

山高み 雲井に見ゆる 桜花心のゆきて 折らぬ日ぞなき 凡河内躬恒(古今和歌集より) 諸君が納得できる結果が出せませよ!!(鮎澤 崇嗣)

習慣を変えろ。やり方を変えろ。

●十二月に入り、受験生にもあせりの色が濃くなってきた。何度言っても真面目に取り組まなかった生徒もさすがに心を入れ替えてがんばるようになった。このまま本番まで続けてくれることを祈る。一方で、今まで順調にやっていたのに、ここに来て失速する人もいる。何とか立て直して、本番に向かってほしい。

●さて、受験生(高三生)の中で未だに模試で力を発揮できずにいる生徒が一定数いる。昔は中学生も教えていたので想像はつくが中学生も状況は同じだろう。一番多いのは次の悩みである。

●時間内に終わりません。

この生徒達は、以前は終わっていたのではない。ずっと時間内に解ききれないのである。「配点の大きい問題からやってみます」とか「時間配分に気をつけます」とか、本人は試行錯誤するのだが、なかなかうまくいかない。申し訳ないけれども、うまくいくことは永久にないだろう、今のままでは。

●何故か？それは、その生徒が時間が足りない理由を知らないからだ。それも無理はない。世の中に、それを書いた本は恐らく無いし、親も知らない。教える立場の人も多分意識してはいないはず。そもそも生徒が自分で気付くのは無理で周りが助けてあげなければならぬのだが、以上のような状況で放置されることになる。

●で、私がこうやって書くことになるのだが、時間が足りる・足りないも、合格点がかせげる・かせげないも、すべてテストのときの心の動きにある。心の動き次第で、同じ学力で、中学生であれば偏差値六〇になる人もいれば七〇になる人もいる。高校生であれば、五〇になることも六〇になることもある。時間が足りる人も足りない人もいる。それほど心の動きは重要な要素なのだ。(因みに高校入試Vもぎの偏差値七〇は、大学入試の河合模試の六〇に相当する。) ●では、時間が足りる人・偏差値がよい人たち、

つまりテストに強い人たちは、テストのとき、どうしているか説明しよう。そもそも、きちんと考えた結果は三通りになる。①これだ・②多分これかな?・③分からない。で、強い人はこう反応する。①はすぐ解答用紙に記入・②もすぐ解答用紙に記入・③は「カン」ですぐ記入。②と③については印をつけておいて、時間が余ったら後でやる。

●一方、テストに弱い人はこうだ。①心配になって確かめる・②心配になって該当箇所を読み直し、これでいいか迷う・③あきらめきれずAかなBかなと迷い続ける。結局、この人たちは、考えるのではなく、迷うことに相当の時間を使うことになる。当然時間は足りなくなるし、迷いが心を支配しているから得点も伸びない。

●テストに強い人たちは「考えてすぐ記入する」という動き方を身に付けているが、これはほとんどの場合、無意識にそう動いているのである。お分かりだろうか?時間が足りないあなた、実力を出せないあなた、すぐ変えなさい。あなたの習慣を、あなたのそのやり方を! (小林)

実は大切な受験日の盲点

●年が明けると入試シーズンが始まる。受験の注意は別の記事で読んでもらうとして、そこに書いていないことを述べておきたい。

①入試会場は暑すぎる人が多い。座っているだけで汗ばむ程。だから、すぐ脱げるような服装で行くことは大事。大学受験生は、半そでになれるようにして行くこと。セーターは面倒なので、カーディガンを重ね着していくことをおすすめする。凍らしたペットボトルは必携。

②高校入試で体育館を使うことがたまにあるが、ものすごく寒い。靴下を余分に持って行く。もう一枚重ね着できるように。携帯カイロをたくさん。

③高三生がうける共通テストは大学などの施設を借りて実施されるので、運営する職員の意識が低い。その試験によって自分が務める大学の

評判が左右される訳ではないからか?以下実話 (1) テスト中に監督者の女性がハイヒールで歩きまわり「カツ、カツ……」と靴音が響く。

(2) 監督者が、テスト中に特定の女生徒の前にならずと立って見つけている。生徒が困った顔でにらむと「ニコッ」と笑い返した。その日つけた科目の全ての時間。

(3) テスト中に窓越しに、廊下から同僚が話しかける。「今日どうする」「いつもの所でないじゃない?」「分った。あとでね。」

(4) 体調の悪い生徒がテスト中に吐いた。監督者は「きみ、大丈夫?」といったきり、吐瀉物はそのまま。生徒は口を拭いてテストを続ける。やがて吐瀉物の臭いは教室に広がる。国語のテストでした。

④時計を忘れたら大変な目に合う。教室にない。あつても遠くで見えないことも多い。

⑤友人と待ち合わせをして一緒に行くことにしたが、なかなか来ない。遅れそう。いらいらしているところに電話。「ゴメン!遅れそうだから、車で送ってもらっている。一人で行って……」。「絶交だ!」

⑥休み時間に無神経に話しかけてくる知り合い。気分が良くなるならいいけど、迷惑なことも。

直前に見ておきたい問題をめくっていると、「ねえ、何か問題出して……分った。それ〇〇でしょ。ねえ、次も出して!」「あっち行って……」

⑦休み時間に自慢する奴がいる。「どうだった?おれ、できたぜ。超カンタン。満点かもしれない。」「おれ、ここ落ちるはずねえよ。こんなところ落ちちゃったら人間やめるよ……」。「やめれば……」

●こんな現実がひよつとしたらキミたちを待っているかもしれない。③のようなことは、めったにないが他は可能性がある。しつかりと心の準備をしておくことが大事。心配なことは、とにかく講師に相談すること。高三生は授業で作戦を授ける予定。ともかく、皆さんの健闘を心から祈ります。(小林)

★大学受験・高校受験の当日の注意★

①腕時計を忘れるな。

②鉛筆、消しゴムはたくさん持っていけ。(中学生は定規・コンパスを忘れるな!)

③トイレは早めに行く。

テスト直前に行って混んでいたら?あきらめて我慢するのは最悪です。テスト開始に多少遅れても済ませるべき。我慢している状態では解けません。また、大学入試でトイレトペーパーがなかったという事態がありました。ポケットティッシュは多めにポケットに入れておくこと。

④あがつてしまったら、必ず作業する。

言葉で自分を落ち着かせようとしてもムリ。手をさすったり、体操したり、手をふったり、深呼吸をしたり、文房具の手入れをしたり。作業に集中することで落ち着きます。

⑤はつたりに負けない。

「できたぞ。」「やさしかったよな。」「おれ満点かも。」と大きな声で周りを威圧する人がいます。無視。流されてはいけません。

⑥傾向が変わったら大チャンス。

みんなビビります。当然、あなたもビビります。大事なのは、その先。みんなビビって頭の中が真っ白のはず。だから、「みんな点は伸びないぞ。自分は落ち着いて、とれる所を確実に解いて、合格に近づこう。」と考えるのです。おぼえておいてね。

⑦保冷剤は役に立ちます。

頭がボーッとなったとき、休み時間に、首やほっぺにあてるとすっきりします。

⑧三教科あれば一教科、五教科あれば一教科や二教科失敗するのは当たり前。

一教科失敗→引きずって失敗

*一教科失敗→気持を整えていつも通り〇

どちらがいいか分かりますよね。失敗したことをひきずらないで、他の教科をきちんとやれば合格に近づきます。

⑨昼食後、眠くなる人は、食べるものを工夫する。

給食のあとの五時間目に眠くなる人は、テストのときも同じことになります。昼食をゼリー・プリン・みかんなどにかえると、かなりよくなります。これも模試のときから練習すること。

⑩会場は暑すぎたり寒すぎたりすることがある。

暑いときは上着など脱げるように、また寒いときはカーディガンを着たり携帯カイロを使ったりできるように準備して行くこと。

⑪残された模試の回数は少ないと思いますが、模試のときも必ず右のことを読んで、覚え込んで行くこと。

本番に備えての練習です。